

クサボタン (キンポウゲ科) の北海道分布

千歳市 五十嵐 博

はじめに

クサボタン *Clematis stans* Siebold et Zucc. (図 1) は渡島地方南部から檜山地方南部に分布し、渡邊・大木 (1960) で報告された分布タイプの「ブナ型」に該当する種である。しかし、筆者は「サワグルミ型」を提案したい。クサボタンはこの型を代表する種の 1 つであると考えるので、サワグルミの分布状況と対比して報告する。

文献調査 (クサボタン)

原 (1983) の分布は「全国に分布する。道内では渡島にある」とあり、撮影地は松前町である。

滝田 (2001) の分布は「渡島半島にある」とあり、参考とした標本は江差町産である。

梅沢 (2007) の分布は「北 (渡島半島)・本」とあり、福島町が撮影地である。

門田 (2016) の分布は「北海道 (西南部)・本州に分布する」とあり、富士山麓、長野県荒倉山が撮影地である。

分布

クサボタンの分布は図 2 に示すとおりで、黒丸印は筆者が確認済の地点、2.5 万分の 1 地形図名で北から渡島鮎川・陣屋・赤川・上ノ国・茂辺地・石崎・湯ノ岱・神明・江良②・松前①・渡島福島①・渡島福島②・白神岬の 13 枚分である。各種文献や情報による産地は図示していないが、江差②・桂岡・函館・七ツ岳・渡島知内・千軒①・涌元などがある。これまでに確認できた北限は八雲町の渡島鮎川である。滝田 (2001)、梅沢 (2007) のとおり渡島半島が分布域であるが、正確には渡島半島南部である。

比較のためサワグルミの分布を図 3 に示す。黒丸印は筆者が確認済み産地、白丸印は文献や情報の産地である。サワグルミは各地に植栽されており、淡黒丸印で示している。

両図からわかるブナ型分布との違いは、その北限が黒松内低地帯よりはるか南側であり、北緯 42 度前後、八雲町より南側に集中することである。類似する種としてはクサボタンのほかにアラゲヒョウ



図 1 クサボタン 2016.9.9 白神岬 (北海道内の南限)